

令和6年度 武生高校3年生 進路サクセス・ストーリー

進路希望実現へのカギ ①確固とした目標 ②授業最重視 ③家庭学習の充実 ④規則正しい生活 ⑤客観的な自己分析				
月	学校行事	テスト関係	進路実現に向けて	生活・学習のポイント
4	○面談週間(10~26) ○遠足(17) ◆進路希望調査	○課題テスト(9,10) 模試の有効利用 ・学習の目標設定 ・実力の確認 ・結果分析→弱点補強 ●県模試(記) (27,28)	進路希望調査・担任面談 ＜自分を知る＞ ・志望校(学部学科)の確認 -- その気持ちの強さは? ・現在の学力の分析 -- 到達点との差は?	【最高学年としての自覚】 ・学業,行事,部活動等すべての面で下級生の模範たれ。 【受験生になっているか?】 ・早くスタートした者に志望校への扉が開く。 【学習態勢のセルフチェック】 ・平日5時間、休日10時間の家庭学習。 ・受験本番までの学習計画をイメージできているか? ・授業最重視の上での「受験勉強」ができていないか? ・部活動と学習の両立ができていないか? ・苦手を放置していないか?計画的に学習できているか?
5	○PSⅡ・SEⅡ・CEⅡ 学年発表会	○中間考査(13~17) ◇駿台模試(記) (18)希望者		
6	○春季高校総体(5/30~6/1) ▲教育実習生と語る会(未定) ○合唱コンクール(12)	●県模試(M) (8,9) ○一斉テスト ○期末考査(6/27~7/2)	初の本格マーク模試 共通テストに向けて正確な自己採点の練習を。	【部活動も全力で そして 切り換えを】 ・最後の大会、力を出し切ろう! ・春季総体後、ただちに心と体を切り換える。 部活動にかけていた力の分も学習に注ぐ! ・「進路講演会」で受験への意識を高めよう。
7	○球技大会 ○保護者会(17,18) ◆小論文講座 ◆前期夏季課外(7/22~8/2) ◆夏季午後特講(7/22~8/2) ◆志望理由書講座 総合(学校推薦)型推薦 校内選考書類提出	●県模試(記)(6,7) ◆小論文模試(2) △大学別模試<夏季> ◆全統模試(M)(27,28)	夏は受験の天王山。 夏を制する者は、 入試を制する!	【天王山の夏休み(学力差が最もつく期間!)] ・1日最低12時間の学習時間を確保せよ。 (この時期の学習が秋以降の成績としてあらわれる) 【夏季課外を有効利用】 ・課外をペースメーカーとして、受験勉強を進めよう。
8	◆前期夏季課外(~2) 志望校の模試がある場合は積極的に受験する。秋季とセットで受験すれば成績の伸びが把握できる。	△大学別模試<夏季> <希望者受験> ◆全統模試(記)(17)		【全統マーク模試】 ・基礎力確認、弱点分野はその都度補強。 【全統記述模試】 ・夏休みまでにつけた力を確認し、今後の学習に活かすきっかけとする。 【大学別模試<夏季>】 ・駿台、河合、代ゼミ等による大学別模試。 志望大学を想定した問題で実力確認。
9	○学校祭(8/30~9/1) 学校推薦型(共通テストなし) 私立指定校推薦 校内選考書類提出 ◆進路説明会(未定) <生徒対象・保護者対象>	○一斉テスト ●県模試(M) (7,8)	進路説明会 (共通テスト出願説明会) 共通テスト願書提出	【学校祭も全力で】 ・高校最後の学校祭、友情を深め大いに燃えよう! 【切り替えが大切】 ・学校祭後、スッと切り替える。 ・共通テスト出願説明会。
10	○遠足(16) 学校推薦型 (共通テストあり・前出願) 校内選考書類提出	○中間考査(8~11) ◆小論文模試(11)※希望者 ●県模試(記)(12,13) ◆全統模試(記)(19)	模擬試験で力を伸ばす	【模試・模試・模試...】 ・9月末から11月にかけて、毎週のように模擬試験。 模試は「準備」「受験」「復習」のサイクルで力がつく。 ・この時期は記述力重視の学習を心がけよう。
11	夏季からの成績の伸びを確認。 難関大学受験希望者は積極的に受験する 学校推薦型 (共通テストあり・後出願) 校内選考書類提出	●県模試(M)(2,3) △大学別模試<秋季>※希望者 ○一斉テスト ◆共通プレテスト(M)(16,17) ○期末考査(11/29~12/4)	志望大学の絞り込み、担任面談 現役生はここから伸びる! 「行きたい大学」を堅持して学習に取り組みよう。 この時期は差があっても当然。 その差をどのようにして詰めていくかが大切である。	【大学別模試<秋季>】 ・夏と二次試験の間点。志望大学に向けた学習の進捗状況を把握し、入試に向けた戦略を立てていこう。 【徐々に共通テストも意識して】 ・授業を中心としつつ模擬試験も活用して問題演習を行っていこう。マーク形式、時間配分にも慣れていこう。 問われるのはやはり教科の実力。実力を磨いていこう。
12	○保護者会(三者面談) (19,20) ◆冬季課外(24~27)	◆駿台プレテスト(M)(7,8)	受験予定校の確認 ・国公立は3段階くらいの受験予定校を決めておき、願書を取り寄せておく。 ・私立受験校を決めておく。	【大学共通プレテスト】 ・実力試し。第1志望との差は?それを埋めるには? 結果に一喜一憂することなく、できなかった問題・弱点を一つ一つ克服していこう。復習が鍵だ! 自己採点も正確にできるように!
1	◆冬期課外(6,7) ◆面談期間 ◆国公立大学前期特別講座 (1/22~2/21) ◆小論文講座		大学入学共通テスト試験 ↓ 担任面談 ↓ 国公立大学出願 (1/27~1/31)	【出願校決定】 共通テストの得点だけを見て判断するなかれ。 よくも悪くも、まずは冷静に結果を受け止めた上で、全国平均・志望動向などをふまえ、面談を通して納得のいく出願を。独りよがりには損をする。担任とよく相談を。そして、最後は自分で出願校を決めよう。
2	◆国公立大学後期特別講座 (2/27~3/11)		前期日程試験(25,26) ↓ 合格発表(6~)	【特別講座をフルに活用】 特別講座で力がつく! この時期の学習が合否に直結する。講座に毎日出席して、これまでの学習スタイルを崩さないことが大事。 【個別指導】 担当者から小論文・面接等の指導を受ける。
3	○卒業式(1) 充実感を持って卒業できるように、この一年、何事にも全力で取り組もう!	結果が出たら、すみやかに担任の先生に報告しよう。	中期日程試験(8~) 後期日程試験(12~) ↓ 合格発表(20~23)	【後期日程まであきらめずねばり抜け!】 最後までねばり抜け! 「あきらめたらそこで試合終了ですよ。」 苦しいときが伸びているとき。最後までがんばろう!! 【結果報告】 受験の締めくくり。 合格の吉報を、担任の先生に報告しよう!!

基礎・基本の充実期
苦手科目の克服期
基礎・基本の完成期
志望校に対応した個別学習
基礎・基本の完成期
苦手科目の克服期
基礎・基本の完成期
伸長・記述実戦演習の時期
授業・模試を通じた記述力
共通テスト対策
国公立大学二次試験に向けて記述力の完成

★上表中の予定は、一部日程等が変更されることがあります。